

《担当者名》歯学部講師 / 建部 廣明

【概要】

歯科医学臨床および研究のおもな対象であるヒトの歯の形態、個々の歯で形成される歯列、さらに上下顎の歯列の対向関係である咬合の形態や基礎を学ぶ。

【全体目的】

歯科臨床科目や咬合の知識を学ぶための基礎知識を修得するために、ヒトの歯の形態学的特徴および形態異常、口腔における歯と歯列の成り立ちや役割を学び、その構造と機能の関連を理解する。

【学修目標】

- 歯の定義・起源・生歯・歯の交換について概説できる。
- 歯の記号を用いて歯や歯列の記載ができる。
- 永久歯・乳歯のそれぞれの歯種の形態的特徴と臨床解剖的問題点が説明できる。
- 歯列・隣接歯関係・対向関係・咬合の概説とその意義を説明できる。
- 異常歯の定義・原因と、その分類と問題点について説明できる。
- 各歯の特徴をとらえた模式図を描ける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	[ 1 ] はじめに 1. 歯の機能 2. 歯の交換 3. 歯の植立 4. 歯の組織 5. 歯の形態 6. 歯の種類と数 7. 歯の表示法 8. 歯式 ( 歯の記号 )	歯の形態と機能を理解し歯の各部の名称を学ぶ。 p.148 - p.150 永久歯や乳歯の種類や数、さらに歯の記号や歯式を学ぶ。 p.151 - p.152	建部 廣明
2	9. 歯の位置による名称 10. 歯の用語	歯の解剖で使用する部位の名称や方向に関する用語を学ぶ。 p.152 - p.155	建部 廣明
3	11. 根管の形態 12. 歯の左右の識別	根管の形態の違いを学ぶ。 p.155 - p.156 左右どちらの歯かを識別するには、近心・遠心の区別が必要となる。 そこでミュールライターの3表徴について学ぶ。 p.156	建部 廣明
4	[ 2 ] 永久歯 1. 永久歯の特徴 2. 永久歯の形態学的特徴 1)上顎中切歯 2)上顎側切歯 3)下顎中切歯 4)下顎側切歯 5)上顎犬歯 6)下顎犬歯	前歯は切歯と犬歯で構成され審美的要素をもつ。 上下顎切歯および上下顎犬歯の形態的特徴を理解し、それぞれを区別できる。 p.156-p.166	建部 廣明
5	7)上顎第一小白歯 8)上顎第二小白歯 9)下顎第一小白歯 10)下顎第二小白歯	上・下顎小白歯の形態的特徴・歯髓腔の形態を学ぶ。 p.165-p.173	建部 廣明

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
6	11)上顎第一大臼歯 12)上顎第二大臼歯 13)下顎第一大臼歯 14)下顎第二大臼歯	上・下顎大臼歯の形態的特徴・歯髓腔の形態を学ぶ。 上下の大臼歯の違いを理解し、区別できる。 p.173-p.180	建部 廣明
7	[ 3 ] 乳歯 1. 乳歯の特徴 2. 乳歯の形態学的特徴 1)上顎乳中切歯 2)上顎乳側切歯 3)下顎乳中切歯 4)下顎乳側切歯 5)上顎乳犬歯 6)下顎乳犬歯	乳歯が永久歯と交換するまでの役割を理解する。 乳前歯の歯冠形態および歯根形態について永久歯と比較し、その特徴を説明できる。 p.180-p.190	建部 廣明
8	7)上顎第一乳臼歯 8)上顎第二乳臼歯 9)下顎第一乳臼歯 10)下顎第二乳臼歯	乳臼歯の歯冠形態および歯根形態について永久歯と比較し、その特徴を説明できる。 p.190-p.198	建部 廣明
9	[ 4 ] 特色のある歯の形態	典型的な歯の形態と異なる歯について、その特徴と好発部位を学ぶ。 p.198-p.201	建部 廣明
10	[ 5 ] 歯列と咬合 1. 歯列 2. 咬合	個々の歯が集めた口腔単位での状態や関係について詳しく学ぶ。 p.201-p.207	建部 廣明
11 { 14	歯のスケッチ	歯のスケッチのための計測法を学ぶ。 上顎右側中切歯の2倍大の唇面、舌面、近心面、遠心面、切縁観の5面について歯の全体像を正確に計測し、方眼紙に描く。 p.254	建部 廣明
15	歯の解剖学のまとめ	「歯の解剖学」の全体を復習し、知識を整理しながら、臨床との関連を考察する。	建部 廣明

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験（100％）

#### 【教科書】

「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

#### 【学修の準備】

指定された教科書のページあるいは指定された模式図を予習しておくこと。（120分）

第11-14回歯のスケッチに関しては事前に歯の形態を復習して授業を受けること。（120分）

第15回で行う課題は事前に行って授業を受けること。